

「IAEA インターンシップ支援に係る公募」

【審査結果:応募者1】

1. 審査結果

採択とする。

但し、応募動機について、合格とはしたものの、半数の審査員からコメントが寄せられていることから、応募者及び指導教員にその旨を伝え、再提出とする。(?)

2. 審査内容

- ①応募動機の評価: 可(6/8) 不可(2/8)
- ②語学力: 可(8/8) 不可(0/8)
- ③学業成績: 可(8/8) 不可(0/8)

3. コメント一覧

・自分の技術的バックグラウンドに照らしてなぜ IAEA インターンシップに参加したいのか、IAEA で何をしたいのかが示されていない。例えば、国際的な問題解決に貢献したいとのことだが、ここで対象としている原子力の国際的な課題とは何か? 再度、本インターンシップに応募した目的、IAEA でのインターンシップで実現したいことを整理することを望む。

・何よりもやる気があるのはいいことです。ぜひ世界を見てきてもらいたいと思います。

・学業成績、語学力とも抜きんでているとは言えないが平均を上回っていると判断できる。志望動機は海外での経験を重視しているとの印象があり、エネルギーや原子力といった面での必然性が読み取れないが、IAEA での経験がより一層研鑽を積むきっかけとなることを期待する。

・学業成績、語学力とも抜きんでているとは言えないが平均を上回っていると判断できる。志望動機は海外での経験を重視しているとの印象があり、エネルギーや原子力といった面での必然性が読み取れないが、IAEA での経験がより一層研鑽を積むきっかけとなることを期待する。

・応募者の志望動機について、原子力に対する将来的なビジョンや国際的なキャリアへの希望が強く感じられる。語学能力については TOEIC のスコアが 800 点前後ということで平均以上の英語能力を持ち、円滑なコミュニケーションやドキュメントの理解に支障はな

いと判断することができる。学業成績については、国際的な研鑽を積む上では相応のスコアを求めたいところであるが、概ね平均以上であると判断できる。以上の3つの項目から総合的に判断すると、応募者の支援が妥当であると考えられる。

・応募者の提出資料より、十分な応募動機をもつこと、英語での十分なコミュニケーション能力を有すること、インターンシップに関連する基礎的科目が履修されていること、を確認した。応募者は本件インターンシップで採用される要件を備えており、採用が妥当であるとの意見である。

・志望動機が見えづらいです。もう少し具体的に書いていただかないと判断しづらいです。語学力は、TOEIC780点あるので十分と思いますが、英語科目の方がBが多いですので、少し気になります。成績は、GPA3.3ですが、普通の4点方式とは配算方法が異なりますので、このままの点数で評価するのは少し難しいように思いますが、そもそも一人なので、あまり意味が無いかもしれません。総合的には、私個人は、最も重要である志望動機が具体的ではない点が気になります。

・参加動機が若干漠然としているため、事前に具体的な目的と目標を設定して参加されると良いでしょう。

以上